家庭から



陵・地域で育む子どもたちのえ

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、感染対策をしながら「できることを、できるとき に」少しずつ学校の教育活動や PTA 活動に取り組んだのではないでしょうか。幡多地区小中学校 PTA 連合会も 感染対策をしながら家庭のルールづくりチェックシート、女性役員の給食メニューの掲示、研究大会を行うこと ができました。11月21日には大月町環境改善センターにて研究大会を新型コロナウイルス感染防止のため人数 制限を行いながら開催しました。講師に竹下和男先生を招聘し「弁当の日」について講話をしていただきました。

「弁当の日~『めんどくさい』は幸せへの近道~」 竹下 和男 氏 講演

子どもが、自分の弁当を作って登校する「弁当の日」。献立を考え、買い出しを行い、調理し、弁当箱に詰め、片 付けをする。その全てを子どもが自分一人で行います。竹下先生は、この実践について、日本各地の小中学校で講 演されています。

講演の中で先生は、実話を元にテレビドラマ化されている「はなちゃんのみそ汁」の安武はなさんとの交流につ いてお話しされました。はなさんのお母さんは、彼女が5歳のときに余命宣告を受け、自分が 死んでからの娘のことを思い、その時からはなちゃんにみそ汁の作り方や洗濯、掃除の仕方、 また靴を並べることの大切さなどを一つ一つ教えました。そして幼い娘の姿を見守りながら、 天国へ旅立ちます。生前のお母さんの歌に乗せ、会場にスライドが流れた時には、多くの参加 者が涙を流しました。

竹下先生は、「他人のことを思って涙を流したり理性を働かせたりという人間らしさを司る のは前頭前野。その成長する8歳から19歳に、誰かに喜んでもらうという感覚が育つと、 相手の気持ちが分かる人になる。だからこそ、身体やこころが育つ 20 歳までに、しっかり

とした食事を取ることが大切だ。」と話されました。「弁当の日」は、そうした食生活やこころが育つための環境を つくる取組です。

「子どもの行動を見守ることを面倒くさいと思う親がいる。しかし面倒くさいことは、実は大切なことへの気付 きにつながる。」竹下先生はそう話されました。先生の熱い思いは、会場の参加者の心にしっかりと届いていました。

子どもがすること

弁当の日の取組

- •子どもだけで作る(親は手伝わない)
- 5・6年生だけ(家庭科で指導)
- 月1回で5回繰り返す
 - 効 果
- 家族の会話が増えた
- 親に感謝をするようになった
- 子どもの自尊感情が高まった
- 自ら進んで料理をするようになった

参加者の感想

保護者がすること

- 子どもに失敗をいっぱいさせる 「失敗する権利を与える」
- 結果が出るまで待つ
- 子どもの作った弁当を評価しない
- 子どもの頑張りを認める

子育てを楽しんでいる親の姿

ものころに親にしてもらった子 育てと同じ事をしようとする

も、子どもの未来を優も、子どもの未来を優もすることより することが大切!、子どもの未来を優

100年 未来の 家族へ 繋がる



子どもが親になったとき、子ど

講演、すごく良かった!!食育の大切さ、人間が! です。心にささりまし!」生きるために何が必要! た。我が子にも職場で・・・であるかということを・ i も伝えていきたいと思 i i 講演を聞きながら考え i ; いました。 ; ; ることができました。 ; ! 心につながると思いました。

子どもたちにやらせてあげて成長さ せるということが大事だとしみじみ 思いました。親も一緒になって、喜ん であげるということが子どもの向上

『23 日は読書の日♪♪』

4月23日は、「子どもの読書活動の推進に関する法 律」で、「子ども読書の日」と定められています。この日 にちなんで、毎月23日には、家庭で子どもといっしょに 本を読む時間をつくってみませんか。



子どもが選ぶ子どもの本総選挙

「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」 1位

2位 「ざんねんないきもの事典」

3位 「あるかしら書店」

「りんごかもしれない」 4 位

NPO 法人 こどもの本総選挙事務局の HP より引用



はなちゃんのみそ汁